

穴埋め問題（解答）

第7章 果樹栽培作業

1. 果樹の生育

果樹の種類によって、（ 花芽 ）がつくられる時期が違います。多くの果樹では、花が咲いて果実が実る（ 前の年 ）に花芽がつくられます。花芽の形成には、2つのタイプがあります。モモやオウトウは、（ 去年 ）伸びた枝に花芽がつきます。リンゴ、（ ナシ ）、ブドウは、（ 今年 ）伸びた新しい枝に花芽がつきます。（ ウンシュウミカン ）には、両方のタイプがあります。 = 【P96】 =

2. 果樹の栽培環境

① 栄養

果樹の生育には、（ 窒素 ）、リン酸、カリのほか、バランスのとれた（ 栄養素 ）が必要です。肥料を与える（ 時期 ）と与える（ 量 ）が適せつであることも大事です。

② 土壌

果樹が根を張り、養分や水分を吸収するためには、適切な（ 土づくり ）が必要です。肥料が流れ出しにくいこと、（ 保水 ）性（水もち）、（ 排水 ）性（水はけ）が大事です。 = 【P97】 =

3. 接ぎ木の目的

- i 同じ（品種）や同じ系統の（個体）を増やします。
- ii （結実）開始期を早くします。
- iii （高接ぎ）によって（短い）期間で品種を更新します。
- iv 抵抗性台木によって（病虫害）の被害を少なくします。

= 【P100】 =

4. 整枝・せん定

枝を切る程度によって「（強）せん定」と「（弱）せん定」があります。強せん定は（栄養）成長を盛んにします。弱せん定は栄養成長を弱め、（生殖）成長を盛んにします。

= 【P103】 =

5. 摘蕾・摘花

品質の良い果実を育て、翌年の（花着き）を良くするために、（余分な）つぼみ・花を摘み取ります。弱い苗や（若い）苗を旺盛に育てるために、（全て）のつぼみを摘み取る場合や、花や果実を大きくするために（数個）のつぼみを残して摘み取る場合があります。= 【P106-107】 =

6. 品種更新

① 改植

(樹勢) が弱り、収量が少なくなった老木や (不良) な品種の園地では、(新しい) 苗木に植えかえる「改植」を行ないます。

② 高接ぎ

果樹の枝に、(新しい品種) の枝を接木する方法です。元の(果樹)の枝を切るやり方と、(力枝) として残すやり方の2つのタイプがあります。 = 【P112】 =

7. 土壌の管理

① 施肥

成木では、肥料を土壌の(表面) に散布する「(表層) 施肥」がふつうです。このほか、深耕したとき有機物などと一緒に(全層) に施用する「(全層) 施肥」、肥料成分を水に溶かして木全体に吹きかける「(葉面散布) 」もすることがあります。追肥には、春肥、夏肥、秋肥があり、(即効性) 肥料が使われます。

= 【P116】 =

8. 種なしブドウの作り方

デラウェアでは（ 開花 ）前と、開花後の2回、（ ジベレリン ）の溶液に房を浸します。種なしができる（ 品種 ）であることを確認し、ジベレリンを使う時期と、溶液の（ 濃度 ）をきちんと守ることが大切です。 = 【P118】 =

9. 主な果樹の植物成長調整剤の使用目的

- ・ 果樹の皮が（ 浮く ）のを防ぐ : ウンシュウミカン
- ・ 種なしにする : ブドウ
- ・ 収穫前の（ 落果 ）を防ぐ : リンゴ、ナシなど
- ・ （ 成熟 ）を早める : 多くの果樹
- ・ 根、枝の発生を進める : リンゴなど
- ・ 果実を大きくする : （ ブドウ ）

= 【P119】 =

穴埋め問題（解答）

第8章 花き栽培作業、第9章 農作業の用語

1. 切り花生産の特色

切り花生産は鉢花や花壇苗に比べて（ 輸送コスト ）が安いいため、栽培地域の（ 気象 ）や地形などの条件を（ 生かした ）栽培が行われています。 = 【P123】 =

2. 切り花の品質低下の要因

切り花は養水分の（ 供給 ）が絶たれると、（ 光合成 ）が行われないため、蒸散・呼吸によりしおれ、落蕾、（ 褐変 ）、腐敗、不開花などが発生します。 = 【P124】 =

代かき・・・水田に水を入れて（ 耕うん ）し、イネ苗が植えられる（ 柔らかい ）土の状態にすること

促成栽培・・・施設などを使い、普通栽培よりも（ 早い時期 ）に作物を栽培する作型

渋抜き・・・人工的に可溶性（ タンニン ）を不溶性（水に溶けない）の状態に変えること

（ 冷害 ）・・・夏に天候の異常で気温が低く、作物に被害が出ること